

仕事できても 抜け出せない “怠惰な自分”

ふるさと納税「控除受けず」が25%

寄付額の2千円を超える金額が控除される「ふるさと納税」。

申請をせず、控除を受けなかった人が25%いるという。

「アホすぎる」という声があがるが、なぜか怠惰になってしまう局面は、
あなたも思い当たることがあるのでは。

仕事から帰ってきて、すぐに家事に手を付けられない。あるいは必ずと言っていいほど道草をくって帰る

(66歳・女性・非常勤講師)

風呂が嫌い。入らずに1週間までは不快感があるが、それを過ぎると何も感じなくなる。冬場は垢と脂でコーティングされていた方が保温効果がある

(53歳・女性・学校司書)

予定していたタスクがクリアできず先送りになる。たとえば洗濯、掃除、クリーニング、書類整理等々。気持ち悪いので少しでも取り組もうとすると、外出予定に遅れることになる

(50歳・男性・会社員)

またやってしまった！
月初の週末。銀行口座とクレジットカード、一つのアプリを見比べて頭を抱える。預金残高がカードの支払い額に数千円足りない。慌てて別の口座から1万円を引き出し、もう一つの口座に移す。年に2回ほど発生する、記者(31)の風物詩だ。
社会人として働き始めてすぐに、「好きなだけ使ってもいい口座」と「貯金用の口座」のつをつくった。最初はうまく、運用できていたが、コロナ禍が明けたころから出張費の立て替えなどで出費が増加。経費申請をずるずる先延ばしにしていたある日、「使ってもいい口座」がバースト、引き落としできずカードが停止した。
すぐに支払ったため大事は免れた。だが、度すつからかんになった口座はゆとりがなくなり、残高ギリギリを攻める生活

ふるさと納税手続き 対処法

パークサイド日比谷クリニック
の立川秀樹院長監修

4人に1人が
失念?

A 後回しにしてしまい忘れる

報酬には「即時報酬」と「遅延報酬」の2種類がある!

返礼品

多くの人がスムーズに
手に入れる

税の控除

ミスる人が
一定数いる!

対策

・アラームをつける 締め切りにギリギリ間に合う直前につけるのがポイント

B 優先順位がつけられない

年末年始のバタバタでふるさと納税の手続き期間が終わっていた……

タスクを正しく見積もれていない可能性大!

対策

・ChatGPTにタスクを入れて管理してもらう
・得意な人に代行してもらう

が始まった。お金を少し移せばいいと自分でも思うが、なぜかできずにいる。
だらしがない……。そう自覚しているから、この話を誰かにしたことはなかった。打ち明けようと思っただけ、ある調査結果を見つけたことがきっかけだ。

だが、トラストバンクのアンケートによると、ふるさと納税をしたことがある人のうち25.2%が「控除を受けたことがない」と回答。その理由として39.8%が「手続きの仕方を知らない」とし、続く34.0%が「手続きが面倒」と答えたという。この調査結果を受けて、SNSには、「アホすぎる」「情弱」といった手厳しい言葉が並んだ。確かに損はしているが、手続きが面倒という理由には、特に強いシンパシーを感じた。

「4人に1人は寄付金控除を受けたことがない」

「その気持ち、わかりますよ」
明るい声でそう共感してくれたのは、都内に住むキャリアカ

そんな文書を出したのは、ふるさと納税のポータルサイトを運営するトラストバンクだ。ふるさと納税は、寄付の返礼品として地

場産品などを受け取ることができる制度。申請をすれば、寄付額の2千円を超える金額が所得

額と住民税から控除される。

税と住民税から控除される。仕事はばりばりこなすほうだが、